

学校事務職員



中島小学校

菅 洋平 (平成29年度入職)

入職後の経歴		
平成29年度	入職	西小倉小学校
平成30年度	異動	中島小学校



Q 北九州市役所を志望したきっかけを教えてください。

A 教育行政の仕事に就いている親戚の話聞いたのが、学校事務職員の仕事を知ったきっかけでした。また、大学で地域経済などを学ぶなかで、地域経済を回す人材を育てるスタートラインである学校現場を、教員とは違った形で支えることができる学校事務という仕事に興味をもつようになり、北九州市役所を志望しました。

Q 現在担当している業務の内容を教えてください。

A 教職員の給与に関する業務(出勤状況確認や諸手当申請の受付、出張時の旅費支給に伴う手続き)、学校予算に関する業務(年間の予算管理、講師招聘や学校行事の計画、業者への発注と伝票処理)、校納金会計事務(教材費や給食費などの集金、業者への支払)、学校給食調整(年間の食数の調整、給食費の集金・支払)などを主に行っています。

Q 業務を行う中で印象に残っている出来事を教えてください。

A 事務処理のほかに、学校行事への参画や、子どもたちとの交流が多くあります。私が着任時に入学した児童が6年生になり、運動会やその他学校行事で成長した姿を見ると、感慨深い気持ちになります。見た目だけではなく、心や考え方も成長していく中で、子どもたちの6年間という時間の大きさを、その時間を見守る責任感を日々感じています。

Q 北九州市職員として働いてよかったと感じる点を教えてください。

A 卒業式の日や、卒業生が学校に元気な姿を見せに来た時など、地域の子どもたちを育てる場所を自分が支えているということを改めて認識でき、仕事へのモチベーションが上がります。

学校現場を通じて子どもの成長を支えます。

Q 職場の雰囲気や働きやすさについて教えてください。

A 「共同学校事務室」という、学校事務職員を支援する組織があり、業務の相談や支援をしてもらえます。また、自主参加の研究会もあり、他校の職員との情報交換や研修の体制が整っています。今の学校では、主に職員室で仕事をしているため、他の職員の働き方を見たり、各クラスの子どもの話を聞いたり、自分からもいろいろなことを相談できる環境にあるので、働きやすいです。

Q 北九州市役所で働くことに興味を持つ皆様へ向けて、メッセージをお願いします!

A 学校現場の主役は、今通っている、これから通う子どもたちです。そして学校事務職員は、学校現場の脇役でありつつ、学校の基礎をつくる役目を担っています。遊びや勉強、部活動やその他諸々、子どもたちの思い出になる環境をつくり支える手段が、学校事務職員には無数に用意されています。自分に合ったやり方で、子どもたちが好きになれる、自分が好きになれる学校をつくっていきましょう。

MISSION

Q 北九州市役所であなたがクリアしたいミッション(夢)を教えてください。

A 「行ってよかった〇〇学校」子どもの頃の思い出は、楽しかったこともつらかったことも、大人になった自分を形作る柱の一つになると、自分の経験から感じます。自分の働くまちで育った子どもたちには、学校での経験を、大人になっても温かい思い出にして、もってほしいです。そう思われる学校をつくってきたいです。

